
オバッカーズ、イブにはりきり過ぎるぜ！の巻

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オバツカース、イブにはりきり過ぎるぜ！の巻

【Nコード】

N7660Z

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

そうじさんの企画に則り書いてみました。×切過ぎちゃったけど。実在キャラクターが出てくるけど、ストーリーはもちろんフィクション。嘘八百！

(前書き)

そっじさんの企画の概要は聖騎士さんのカツホーで読みました。オ
バツカーズの発案者はとーよーです。

どうでもいいことだが、何とクリスマスイブの夜、地球に隕石が激突して人類は絶滅する予定らしい。

ちなみにこれは宇宙人が仕組んだもの。たちが悪くて賢い宇宙人だった。隕石をコントロールする高い技術力を持つてくるくせに笑いのためなら何でもするというムカつくやつらだった。普通、地球を潰したら意味ないやん植民地にできないやんと思うが、彼らは面白ければ何でもいいのだ。クリスマスイブじゃなくていいのに調べてわざわざその日を選んだのはさらにイラつく。鬼畜か！

オバツカーズ本部。リーダーとーよーが、ホワイトボードを前に作戦を説明する。

「……というわけだ。何か質問はあるか。お前らはバカだからよくわからんだろう」

副隊長ライスが手を挙げた。「リーダー。それって結局あんたが一番おいしいんじゃないの」隣でライスの彼女華子がそうよそうよライス先生の出番が少ないわと口をとがらせてる。聖騎士が、ボクのセリフを増やしてくださいと文句言う。想さんはソファアの上ですでにイビキをかいてぐーすか寝てる。仕事でこっつ疲れていたのだ。くたくただったのだ。もはや、文学フリマには出席できない。へげぞは、とーよーがあまりに自分ばっか目立とうとしてイラつてきたから、とーよーのコーヒーが入ったコップに唐辛子を山ほど入れておいた。とーよーは知らずに飲んでしまい口から火を噴いてる。琉生が手を叩いてゲラゲラ笑ってる。その頃、リープは、会社で椅子をくるくる回して遊んでる。仕事が山積みで現実逃避。後輩がリープの頭をスリッパで叩いた。「痛いなバカ！」パートさんが、リープに覚醒剤を打とうとした。「や、やめて」「仕事終わるまで寝かせないよ。旧日本軍も戦場でヒロポン打ってたんだ」「やめてーっ」夜兔はその頃、工場で一人残業していた。「もういやだ。死に

たい。チキン食べたい」ねこはその頃、家でこうちゃんたちとパーティー。「ねこ。食いすぎだよ」「うるさいね太郎ちゃん」「ばぶうばぶう」「こうちゃんもママぶつ殺すぞこの食いしん坊って言ってるぞ」「言ってるないよ！ ねえ？ こうちゃん」「ババあ。でぶになるぞ」「こうちゃんがしゃべった！！！」

オバツカーズメンバーは駐車場に停めてあつた宇宙船に乗り込んだ。ぼろい宇宙船だった。別にぼろくてもいいのだ。今から隕石に突っ込むのだから。特攻だ。琉生は子供だし、華子は女なので残った。「ライス先生。キスして。あ。こら。おっぱいもむな」

「琉生。キスしてくれよ。お願いだよ。もう死ぬんだから」「はーくん！ キスはいいけど、おっぱいもんじゃいや！」「へげぞはカッブルどもがイチャイチャしゃがるんで、イライラして、とーよーの鼻にカラシとわさびを練り込んだ。「は、鼻が痛いいいいい」想さんは寝たまま起きなかつた。なんと地球の危機だというのに、文学フリマでたくさん本を売ってる夢を見てニヤニヤしていたのだ。なんとというタフな男だ！

宇宙船は飛び立った。

みなさん、あとはやつらに任せときましよう。今から彼らオバツカーズの、宇宙船内での壮絶な人間ドラマが始まりますが、二時間ほどあるんで、それはDVDが出てからゆっくり観ればいい。どうしても今すぐ観たい人は、BSで実況中継しています。つまりは、ノーカットです。家族で観ると楽しいよ。

「あつとーよー。てめえ、オレのチキンとつたな」

「むしゃむしゃむしゃむしゃ」

「この宇宙船のろいなあ。いつ隕石につくんだよ」

「てめえ、とーよー。こら。オレのチキン返せこのくそ二ーと」

「むしゃむしゃむしゃむしゃむしゃむしゃむしゃむしゃむしゃ」

メリークリスマス！

(後書き)

ふうむ。なんとというか知ってる人はおもしろい知らん人はようわからんちゆう感じになりましたね。。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7660z/>

オバッカーズ、イブにはりきり過ぎるぜ！の巻

2011年12月25日00時50分発行